

2020年度 国際コミュニケーション学会評議員教育研究実績

岩田 晋典

《論文》

- 『るるぶ台湾』シリーズの懐古言説の変化：九份とリノベ系の記述を中心に 単著 『文明21』第45号 2020年12月
愛知大学国際コミュニケーション学会 pp.13-33
- 東亜同文書院生が見たフィリピンのダンス：「大旅行」の異文化コミュニケーション的側面に関する一考察 単著 『文明21』第46号 2021年 3月
愛知大学国際コミュニケーション学会 pp.33-50

梅垣 敦紀

《論文》

- Bicubic number fields with large class numbers 共著 Advanced Studies in Pure Mathematics 84 Yasuko MORITA, Atsuki UMEGAKI, Yumiko UMEGAKI pp. 335-351 2020年 5月

加納 寛

《論文》

- 戦時期日本の対タイ宣伝に関する研究の現状と課題 単著 『新世紀人文学論究』第4号 2021年 3月
新世紀人文学研究会 pp.281-294
- 広告メディアとしての対外宣伝メディア：戦時期日本のタイ語プロパガンダ誌における商業広告 単著 『Intelligence』第21号 2021年 3月
20世紀メディア研究所 pp.156-167

北尾 泰幸

《論文》

- 生起について 単著 日本英文学会関西支部第14回 (2019年度) Proceedings 2020年 8月
- Freezing Principle in English Cleft Sentences 単著 JELS 38 pp.23-29 2021年 2月
- 《学会発表》
英語分裂文における凍結原理 単著 第38回 2020年11月
日本英語学会大会

小崎 隆

《論文》

- Managing soils for recovering from the COVID-19 pandemic 共著 Soil Systems, 4 Lal, R., Brevik, E., Dawson, L., Field, D., Glaser, B., Hartemink, A., Hatano, R., Lascelles, B., Monger, C., Scholten, T., Singh, B., Spiegel, H., Terribile, F., Basile, A., Zhang, Y., Horn, R., Kosaki, T. and Sanchez, L. Article No. 46; doi:10.3390/soilsystems4030046 2020年 7月
- A comparison of lignin-degrading enzyme activities in forest floor layers across a global climatic gradient. 共著 Soil Ecology Letters, 2 Fujii, K., Nakada, Y., Umezawa, K., Yoshida, M., Shibata, M., Hayakawa, C., Inagaki, Y., Kosaki, T. and Hangs, R. pp. 281-294 2020年 7月
- 持続可能な社会への道 共著 日本学術協力財団大政謙次他編 全263頁 2020年10月
- Soil Sciences Education: Global concepts and teaching. 共著 Schweizerbart Publ. Co. Ltd. Kosaki, T., Lal, R. and Reyes Sanchez, L.B. 全198頁 2020年12月
- Distance-dependence from volcano for Asian dust inclusions in Andosols: A key to control soil ability to retain radiocesium. 共著 Geoderma, 385 Nakao, A., Uno, S., Yanai, J., Kubotera, H., Tanaka, R., Root, R.A. and Kosaki, T. Article No. 114889; doi: j-geoderma.2020.114889 2021年 3月

塩山 正純

《著書》

- ラサール訳『嘉音遵口罵口挑菩薩之語』—研究と影印・翻刻— 共著 愛知大学国研叢書第4期第5冊 愛知大学国際問題研究所 永井崇弘 全379頁 2021年 3月

《論文》

- “光盘行动”を表現する中国語——《人民网》2013-2020年ニュース記事で象徴的に使用される語句—— 単著 『日中語彙研究』第10号 愛知大学中日大辞典編纂所 pp. 101-126 2021年 3月
- 关于西洋学者对汉语介词的分析—管窥19世纪上半叶西洋学者汉语词类认识进程— 単著 『文明21』46号 愛知大学国際コミュニケーション学会 pp. 23-32 2021年 3月
- M.F.Crawford著『造洋飯書』（1866）が調理を表現した中国語—動詞と量詞、時間表現を中心に— 単著 『関西大学中国文学会紀要』42号 関西大学中国文学会 pp. 67-82 2021年 3月
- 時間表現の異文化翻訳—早期漢訳聖書から文理訳聖書そして官話訳聖書まで— 単著 沈国威・奥村佳代子編 『内田敬一教授退職記念論文集 文化交流と言語接触』 東方書店 pp. 41-55 2021年 2月

- 从倪戈氏《耶稣教官话问答》窥看十九世纪中叶的“官话”——兼论与《古新圣经问答》一书的比较—— 单著 《国际汉语教育史研究》第1辑 2020年 7月
商务印书馆 pp. 62-75

鈴木規夫

《論文》

- 〈コロナ禍〉後の世界 (1) 米中関係の相克—グローバル化第二ステージをめぐって— 单著 『アジア・アフリカ研究』第60巻 2020年10月
第3号 pp. 27-45
- コロナ禍後の〈一带一路〉構想—〈人類運命共同体〉構築における〈人権〉— 单著 『武蔵野大学政治経済研究所年報』 2021年 2月
第20号 pp. 213-240
- 〈コロナ禍〉後の世界 (2) トランプ政権の仕舞い方とイスラーム圏の変容—アサド政権のイスラーム言説をめぐって— 单著 『アジア・アフリカ研究』第61巻 2021年 3月
第1号 pp. 1-27

《講演原稿採録》

- アメリカ大統領選挙のその後 単独 『アジア・アフリカ・ラテンアメリカ』No.726 p.5 2021年 1月

《講演》

- 大統領選後のアメリカの行方—イスラーム研究の視座から アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会総会招待講演 2020年11月
- 「コロナ禍」後の世界—中国への一視角 ケンブリッジ日本人会定例会 2021年 2月

《その他》

- 回想のケンブリッジ (2) 愛知大学教職員組合『ひろば』第107号 2020年10月
- Ali Akbar Alikhani: Islam in Dilemma of Peace and Violence: Endless Conflicts in West Asia コメント【PRIME共催パゲウォッシュ公開講座】核時代における非戦第2回 2020年12月
- 大統領選挙後のアメリカの行方—イスラーム研究の視座から 単著 『アジア・アフリカ・ラテンアメリカ』No.726 p.6 2021年 1月

《学会発表》

- 田邊元ノート①〈個と民族と国家〉をめぐる未完の論争 単独 南原繁研究会 (第200回) 1月例会 2021年 1月

高原 隆

《論文》

- 新・鬼師の世界—伝統の変容：周縁の再中心化 単著 「総合郷土研究紀要」第66輯 2021年 3月
pp. 1-18
- 新・鬼師の世界—周縁の再中心化：マスメディアからネットメディアへ 単著 「文明21」第46号 2021年 3月
pp. 104-125
- A Fieldwork Study of Kawara (Japanese Roof-tiles) and Onigawara (Ogre-tiles) in Takahama and Hekinan, Japan [I] 単著 『A Japanese Cultural Anthology Nagoya & The Tokai Region』ARM pp. 86-92 2021年 3月
- A Fieldwork Study of Kawara (Japanese Roof-tiles) and Onigawara (Ogre-tiles) in Takahama and Hekinan, Japan [II] 単著 『A Japanese Cultural Anthology Nagoya & The Tokai Region』ARM pp. 93-102 2021年 3月

田森 雅一

《著書》

- 越境し還流する音楽文化—フランスにおけるインド伝統音楽の再帰的グローカル化 共著 『世界を還流する〈インド〉——グローバル化の中で変容する南亜細亜芸能の人類学的研究』 松川恭子・寺田吉孝編 青弓社 44-71頁 2021年 1月

《論文》

- 環流現象と音楽伝統の変容—インドとフランスを結ぶ再帰的グローカル化の諸相 単著 『文明21』46号 愛知大学国際コミュニケーション学会 pp.51-70 2021年 3月

塚本 鋭司

《論文》

- 質的研究法と異文化理解 単著 『言語と文化』第43号 愛知大学語学研究所 pp.1-20 2020年 7月
- Demonology and Demon Slayer 単著 『文明21』第45号 愛知大学国際コミュニケーション学会 pp.1-11 2020年12月
- Science Fiction Anime 単著 A Japanese Cultural Anthology 愛知大学 pp.1-9 2021年 3月

《学会発表》

- Covid-19 and International Education in Japan 単独 IASAS(Indian Association for South Asian Study)とACPA(American College Personnel Association)という二つの学会がオンラインで共催したAround the Globe: What's Next in International Educationというシンポジウム 2021年 2月

塚本 倫久

《論文》

- Do you like the Nagoya Dialect?' A Japanese Cultural Anthology: Nagoya & The Tokai Region 単著 あるむ pp.67-73 2021年 3月
- The Iida Line: A Local Train Journey' A Japanese Cultural Anthology: Nagoya & The Tokai Region 単著 あるむ pp.80-85 2021年 3月

永田 道弘

《学会発表》

- 発表題目「アンリ・ドゥコワン『家の中見知らぬもの』をめぐって」 単独 2020年度日本フランス語フランス文学会中部支部大会 日本フランス語フランス文学会中部支部大会 2020年12月

《その他》

- 映画の楽しみ方原作を、映画を楽しむには原作を 単独 中村生涯学習センター後期講座 読んでおく必要があるか 2021年 3月

片 茂永

《論文》

今昔物語集の法慶と蓮葉 単著 比較民俗学会報 第183号 2020年 9月
pp. 2-8

《その他 (エッセイ)》

タイ正月ソングラウンを生き残るために 単著 愛知大学語学教育研究室『Aichi University Lingua』第16号 pp. 2-3
頁

貴重書紹介：戦時下日本のタイ向けプロパガンダ 単著 愛知大学図書館『韋編：愛知大学
雑誌『カウバブ・タワンオーク』 図書館報』第47号 p.8

飯島 幸子

《論文》

社会変動と知識人の運命：統一後「大学改革」と 単著 『ドイツ研究』第55号 pp. 6-12 2021年 3月
DDR 社会科学者の経験から (シンポジウム：東
ドイツの長い影——東西ドイツ統一から30年)

《講演》

社会変動と知識人の運命：統一後「大学改革」と 単独 日本ドイツ学会第36回大会シンポ
DDR 社会科学者の経験から ジウム「東ドイツの長い影：東西
ドイツ統一から30年」

ウィリアム ブルックス

《論文》

Marketing Strategies Corresponding to Changes in 単著 『愛知大学経済論集』 2021年 3月
Consumer Preferences Resulting from Covid-19 第214-215合併号 pp. 29-70
コロナ禍による消費者の嗜好変化に対応した
マーケティング戦略

The Socioeconomic Impact on the Global Economy 単著 愛知大学国際問題研究所、 2020年10月
Resulting from the U.S. - China Tariff War 米中関 第156号 pp. 125-162
税戦争による世界経済への影響

Marketing Strategies Corresponding to Changes in 単著 『愛知大学経済論集』 2021年 3月
Consumer Preferences Resulting from Covid-19 第214-215合併号 pp. 29-70
コロナ禍による消費者の嗜好変化に対応した
マーケティング戦略

片岡 邦好

《論文》

Scale of 'Relevance' and Complementarity: Focusing 単著 Journal of Asian Linguistic 2020年 6月
on Schematic and Poetic Formations of Interaction. Anthropology, 2(3) pp. 77-109

「バーチャルな『場』における言語と身体—道案 単著 井出祥子・藤井洋子 (編) 2020年11月
内データから考える— 『場とことばの諸相』 ひつじ書房
pp. 231-261

Shifting bonds in suspect interrogations: A focus on person-reference and modality.	単著	Ide, Risako and Hata, Kaori (eds.), Bonding through Context: Language and interactional alignment in Japanese situated discourse. Amsterdam: John Benjamins. pp. 17-37	2020年11月
「演説の多層的マルチモーダル分析—ドナルド・トランプ氏の集会演説に焦点を当てて—」	単著	秦かおり・佐藤彰・岡本能里子 (編) 『メディアとことば』 第5巻 (『政治とメディア』) ひつじ書房 pp. 58-92	2020年11月
《学会発表》			
「改憲議論のマルチモーダル分析に向けて：ジェスチャー空間に投影される政治理念」	単独	第26回 被疑者取調べ録画研究会 (オンライン開催)	2020年12月
「政治演説における「間」を考える—オバマ／トランプ演説における自己抑制について—」	単独	日本認知科学会「問合い研究会」第18回分科会 (オンライン開催)	2021年 3月
「アメリカ大統領選の多層的マルチモーダル分析：トランプ候補の演説集を題材にして」	単独	第54回メディアとことば研究会 (オンライン開催)	2021年 3月
《講演》			
サバンナのジェンダー——西アフリカ農村経済の民族誌	単独	地域研究コンソーシアム賞 (登竜賞) 受賞記念講演 Zoom	2020年11月

高村 めぐみ

《論文》

日本語教師の音声指導に対する意識—母方言の影響を視点に—	単著	『言語と文化』 第43号 pp. 57-70	2020年 7月
日本語の「機能」と韻律要素の関係に関する一考察	単著	『言語と文化』 第44号 pp. 67-79	2021年 3月

《学会発表》

スライドを使った発表におけるノートテイキング—留学生を対象に—	単独	言語文化教育研究学会第5回年次大会ポスター発表於：オンライン	2021年 3月
---------------------------------	----	--------------------------------	----------

友松 夕香

《論文》

農業の女性化—フェミニズムとポストコロニアリズムの国際開発をめぐるパラドックス	単著	『西洋史学』 270号 pp. 79-96	2020年12月
---	----	-----------------------	----------

西部 真由美

《論文》

Legacy of the Owari Tokugawa Family: Tokugawaen, the Tokugawa Art Museum, and Kenchuji Temple	単著	A Japanese Cultural Anthology:Nagoya & Tokai Region あるむ pp. 59-66	2021年 3月
OED Onlineにおける接尾辞—ed型複合形容詞の分析	単著	『文明21』 46号 愛知大学国際コミュニケーション学会 pp. 93-102	2021年 3月

吉本 篤子

《その他（図書紹介）》

教員から学生への推薦図書『掃除で心は磨けるの 単著 愛知大学図書館編「章編」第47号 2020年11月
か—いま、学校で起きている奇妙なこと』 p.6